CHOURAKU MIOU

長い楽しみは未だ半ばにもならない
長樂未央

Winter. 2017 | vol.30

『長楽対談』 第三十回

片岡 仁左衛門さん（歌舞伎役者）

伝統芸能の未来を見据えて守りながらしなやかに攻める

【長楽未央】本年の冒頭を飾ってくださるのは、ご存知、人間国宝・片岡仁左衛門さん。気品漂う佇まいとともに、ご苦労話や歌舞伎の将来について率直に語られる飾らないお人柄にも、スターたる魅力が溢れます。

土手　ようこそお越しくださいました。昨年の顔見世では中村雀右衛門さんのご襲名に花を添えられましたね。耐震工事中の南座に代わり先斗町歌舞練場での興行でしたが、舞台との距離が近く臨場感があり、いつもとはまた違った魅力に感動いたしました。

仁左衛門　芝居小屋という感じがしましたね。当初は心配したのですけど。舞台の奥行きも袖もないので道具があまり仕込めず、狂言設定にずいぶん制約がありましたが、やってみますととてもよく、稽古のときに客席から見ますと定式幕がすごく似合うんですね。金毘羅歌舞伎の金丸座に近い感じもあって非常にいいと思いました。おそらくもう歌舞伎公演はしないと思うので、私としても貴重な体験をさせてもらいましたし、裏方も皆、よく頑張ってくれました。

土手　この度も上演されたお家の芸の「廓文章」ですけれども、仁左衛門さんの藤屋伊左衛門は、すっと立っておられる姿が本当に美しく、芸というよりもはや芸術だなぁと感じました。

仁左衛門　それはありがとうございます。実はあれは、父がやっていた伊左衛門より子供っぽく演じています。もちろん父の教えは踏襲しながらです

PROFILE

片岡 仁左衛門 さん（歌舞伎役者）　1944年大阪府生まれ。十三代目片岡仁左衛門の三男。長兄に五代目片岡我當、次兄に二代目片岡秀太郎。5歳で初舞台を踏む。98年に十五代目を襲名。2016年京都府文化賞 特別功労賞他、受賞歴多数。06年紫綬褒章、芸術院会員。15年、重要無形文化財保持者の認定を受ける。

長楽館オーナー 土手 素子　土手家に嫁いで以後、京都市指定有形文化財「長楽館」の動態保存と活用に情熱を注ぐ。

けれどもね。伊左衛門は昔は大人でよかったのですが、今のお客様からすると、じゃらじゃらすねたり、はしゃいだりする若旦那の振る舞いは、「いい大人があほか」、となるんですね。昔はそれで通っていたんです、大体男はだらしないもんやから（笑）。

土手　「だらしないなぁ」「しゃないなぁ」と人情の機微を肌に感じるということが、失われてしまっているのかもしれませんね。

仁左衛門　そうかもしれません。だから伊左衛門の実年齢を考えさせないように持っていかないとこの狂言は残っていかない気がしますので、今は幼さを強調するようにやっています。

土手　伝統をただ守るだけではなく現代に合うよう工夫もされているわけですね。

仁左衛門　そういう部分も多いですよ。たとえば狂言の微妙なところや詳細の説明を義太夫がやってくれますね。忠臣蔵の七段目ですと、お軽が「勘平さんは三十に」と言います。すると義太夫が「なるやならずで…」と続ける。ところが今は義太夫の文句を聞かれる方が少ないので、勘平は三十二歳と思ってしまう。

土手　お軽の台詞自体、今は聞き取れない方も増えているのではないですか？

仁左衛門　おっしゃる通り。しかし本来は、たとえ言っていることがよくわからなくても、その場の情景や表情などで登場人物の気持ちを汲み取る、というのも歌舞伎の見方なんです。俊寛の台詞に、「とくにも捨身したれば」というのがあります。「しゃしん」って言葉を聞くと「写真」を連想してしまう方が多いと思うのですが（笑）、身を投げて死ぬのと、この「身を捨てて死ぬ」のとは微妙にニュアンスが違います。ご覧になる方に俊寛の切なる気持ちをわかってくださるよう「台詞は言葉を伝えるのではなく〝思い〟を伝えるもの」という気持ちで演じています。その〝思い〟を伝えるために、少し直さなきゃいけないと感じるところは変えることもありますが。

土手　どのような台詞を変えておられるのですか？

仁左衛門　「この仕合せ」という台詞は、言葉だけで聞くと幸を連想してしまいますから、私は状況によっては「しだら」に変えています。しだらもおわかりにならない方が増えていると思いますが、幸せと勘違いされるよりも、あとはその場の雰囲気で汲み取っていただける言葉としてそのように直しています。台詞ひとつも、守りながら攻めるというのでしょうか。その上で、お客様には、本当は三度見ていただけたらいいなぁというのが私の理想なんです。一度目はご自分の感性で、二度目はイヤホンガイドなどを利用されて、そして三度目はまた何も利用されずに。そうするとドラマに入っていけると思います。何もよいお席でなくて十分ですので。

芸はいくつになっても自分との闘いです

土手　仁左衛門さんといえば京都の方、というイメージが強いですが、お生まれは大阪とか。

仁左衛門　ええ、大阪です。昭和二十年の空襲で母が兄たちの手を引き私を背負うて逃げ、それ以来、京都です。昭和三十年代になると関西では仕事が極端に少なくなり、十八、九歳の頃に東京に仮住まいし、二十四歳で移住しました。

土手　上方歌舞伎が下火で……？

仁左衛門　今の若い方には想像がつかないでしょうねぇ。上方の歌舞伎の不振は。切符を買っていただくのに父と企業を回ったりもしました。

土手　かつては孝夫さんだった仁左衛門さんはメディアでは大活躍で、女性は心をときめかせたものですが。

仁左衛門　お恥ずかしい話ですがドラマに出たりしないと食べていけませんでしたから。

土手　それほど厳しい状況だったとは。

仁左衛門　顔見世にしましてもね、朝十時から始まるんですけど、幕が開いても平気で大きな声で「○○さん、こっちこっち」と立ち上がってお友達を呼ばれたり、しゃべりながら席に着かれる。関西の役者はそういう朝と、そして夜の部の最後しか出し物ができない時代もありました。夜は夜で、大道具を変えるのにも時間がかかり幕間が長くて、深夜十二時とか一時までやっていた時もありました。お客様は三分の一くらいに減ります。私ら二十代の頃まではそういう風でしたよ。

土手　そのような状態だった上方歌舞伎が復興し

たのはいつ頃ですか?

仁左衛門　昭和五十三年に澤村藤十郎さんがとにかく下から掘り起こそうと、松下の労働組合の方に協力いただいて、「関西歌舞伎を育てる会」が発足してからですね。歌舞伎を見たことのない方々に「歌舞伎の見方」という解説を付け、立ち回りや扮装するところもお見せしたり、お客様に舞台へ上がっていただき馬に乗っていただいたり、そういうことが評判を呼びました。昭和六十二年、中座公演で満席になって、その頃は消防法による規制もそう厳しくなかったですから、二階席の段々にまで座布団を敷いて見てくださるといったことがありました。そんな光景は子役のとき以来。どん底を知っているだけにそのときは本当に感激し、父と「沼津」を共演したのも思い出深いです。それでも東京に比べますと、今でも劇場の数も歌舞伎人口もずいぶん差はありますけれども。

土手　そうはいってもやはりすごいことですよ。南座の公演も盛り上がったことと思いますが、その頃の思い出はおありですか?

仁左衛門　特に顔見世はお客様がとにかく華やかで、我々の気持ちも華やいだものです。顔見世のために晴れ着を新調されたり、そうでなくとも特別のおしゃれをして来られました。今は着飾るという雰囲気はなくなりましたね。

土手　それだけ歌舞伎が親しみやすいものになったということでしょうけれど、京都はもともとはハレとケがはっきりしていて、それを楽しむ文化がありましたから少し残念ですね。

仁左衛門　普段着と余所行きという感覚もなくなっているのでしょう。歌舞伎は大衆演劇ですからもちろん気軽に観ていただくのがいいのですが、いいお席に座られるときは少しおしゃれをしていただいたり、そういうメリハリが、もっと芝居見物を楽しいものにしてくれると思いますよ。

土手　お芝居見物はやはりハレの楽しみですよね。ところで人間国宝認定から一年以上になられますが、心境の変化などございますか?

仁左衛門　認定を受けてもそれ以前でも芸は自分との闘いですし、後継者育成への思いも以前と変わりません。ただ無形文化財ということは私の芸が文化財。常にその価値がなければならないのですが、実際には不可能なこと。生身の人間ですから、日によっては不出来なときもあります。そんな時に文化財と言われるのはむしろ苦痛を覚えます。毎年査定の上、ふさわしくなければ取り上げてくださるほうが気が楽です(笑)。肉体的に否応なく衰えていく中で、芸との闘いがますます厳しくなった、と改めてそういう思いがしております。

土手　仁左衛門さんからそのようなお話をお聞きしますと背筋が伸びます。本日はありがとうございました。

三月大歌舞伎
平成29年 **3月3日**(金)初日→**27日**(月)千穐楽
【昼の部】午前11時開演
「義経千本桜」渡海屋・大物浦　に出演
【夜の部】午後4時30分開演
「けいせい浜真砂　女五右衛門」南禅寺山門の場　に出演
●ご観劇料(税込)
1等席18、000円　2等席14、000円
3階A席6、000円　3階B席4、000円
1階桟敷席20、000円
●お問い合わせ　チケットホン松竹　0570(000)489
または　03(6745)0888

第二十三回　四国こんぴら歌舞伎大芝居
中村芝雀改め　五代目中村雀右衛門襲名披露
平成29年 **4月8日**(土)初日→**23日**(日)千穐楽
【第一部】午前11時開演
「お祭り」に出演
【第二部】午後3時開演
新古演劇十種の内「身替座禅(みがわりざぜん)」に出演
●ご観劇料(税込)
S席16、000円　A席14、000円　B席10、000円
●お問い合わせ
こんぴら歌舞伎事務局　0877(75)6714(金丸座)

素子のcoffee break

吉例顔見世千秋楽(十二月二十五日)の翌日、お疲れの中お越しくださいました。先斗町歌舞練場の舞台でも、昨日のテレビ番組の劇場中継でも、私の目には仁左衛門さんしか入らなかったのに、今日その方を目の前にして、顔を上げられない私。溢れるオーラに包まれた、本物のスターです。

HOTEL
CHOURAKUKAN

遠くへ行きたい

知らない街を　歩いてみたい
どこか遠くへ　行きたい

知らない海を　ながめてみたい
どこか遠くへ　行きたい

遠い街　遠い海
夢はるか　一人旅

愛する人と　巡り逢いたい
どこか遠くへ　行きたい

愛し合い　信じ合い
いつの日か　幸せを

愛する人と　巡り逢いたい
どこか遠くへ　行きたい

―――――― 永　六輔

時計もない、スマホもない、ただ喧騒から離れて、愛する自分に巡り逢う旅。

ホテル長楽館

1泊 夕・朝食付き ¥33,000～（2名様1室利用時の1名様料金）（税・サ料 別途）

ミシュラン ガイド に選ばれました

ホテル部門：”4赤パビリオン”

ホテル長楽館は「ミシュランガイド京都・大阪2017」のホテル部門において、昨年に引き続き、“4赤パビリオン（最上級の快適さで、特に魅力的である）”の評価をいただきました。

Introduction of Chourakukan

【長楽館紹介図鑑】

vol. 19

「 感謝の心を忘れずに 」

パティシエ　本田実鈴

私がパティシエを目指したきっかけは、「かっこいいな」という憧れからでしたが、浅はかな考えに周りから強く反対されました。しかしお菓子によって人を笑顔にできたり、お菓子を通して人と人を繋ぐこともできるというお菓子の魅力を強く感じ、中学生の時に絶対パティシエになると思いを固めました。

私はまだまだ駆け出しの状態なので、これからもっと努力して多くのことを学んでいきたいと思っています。もちろんお菓子のことだけではなく、食材の知識やお料理のこと、社会のことなどの知識を吸収して、自分の成長に繋げていきたいと考えています。

長楽館で働き始めて間もない昨年の東山・花灯路でのこと。仮設のテントでホットワインの店頭販売をしている私に、お客様から「毎年楽しみにしています」という声を聞き、長楽館のファンが多いことを実感し、そんな愛されている場所で働ける誇りを感じました。

熊本から遠く見知らぬ土地で、諦めることなく夢を叶えられたのは職場やアルバイト先の素晴らしいシェフの方々、先輩方、頼もしい友人たち、そして反対しながらも許してくれた両親のおかげです。回りの方々への感謝の気持ちを忘れず、これからも日々精進して参ります。

MISUZU　HONDA

熊本県阿蘇市出身
地元の農業高校で三年間食品関係を学ぶ。
高校卒業後京都へ。ホテルで住み込みのアルバイトをしながら
京都製菓技術専門学校に２年間通う。パティスリー・ショコラ上級科卒。

【History & Story of CHOURAKUKAN】

迎賓館へようこそ

episode 20. 夢枕獏が歩く長楽館

「京都は、実は知る人ぞ知る洋館の町である。
しかも京都らしい風情と品格と歴史を持った洋館が多い。
さらに色気まである。
そのうちのひとつ、この20年、おりに触れて足を運んでいるのが、
東山にある長楽館である。」
――――（古都さんぽ「夢枕獏が歩く長楽館」2016.4.2朝日新聞）

【 Italian Garden 】

◎後庭

長楽館の建物はアメリカ、イギリス、フランスなど欧米各国の、歴史的な建築様式を其処彼処に取り入れた建築様式の宝庫ともいわれている。そして、かつて長楽館は、その西側、つまり正面玄関からみて建物の裏側に、後庭としてイタリア様式のガーデンを擁していた。木立の中に噴水のある池。その周りを囲むように美しい手摺のついた遊歩道。池を見下ろす位置に西洋庭園の典型であるガゼボ（西洋風あずまや）。日本庭園は同一平面から見ることを前提に作庭されるが、西洋庭園は上から見下ろした美を意識して作庭されると聞いたことがある。堂々たる典型的な西洋風庭園である。

現在後庭はなく、新館が建てられ、一階にイタリアン・レストラン、三・四階に六室だけのミシュランガイドにも格付けされたリゾート・ホテルとして、迎賓館の伝統を今に受け継いでいる。

◎命名の由来

「長楽館」という名前の由来について諸説がある。東山三十六峰の一つである長楽山に由来するというもの。近くの長楽寺に由来するというもの。伊藤博文公が命名するにあたって「長楽」という名のヒントを何から得たのだろうか。ごく最近に得た新説を紹介したい。

◎作家　夢枕獏　説

「まず、この建物の名前、長楽館から解きおこしたい。そのルーツはと言えば、中国である。唐の頃、都長安の東側に長楽駅という駅があった。長安城東面北第一門である通化門から七里（三.八キロ）のところにあったと言われている。この長楽駅、公私にわたる送迎所であり、外国からやってきた使節団は、皆、長安城に入る前、ここで一泊した。日本からやってきた遣唐使、阿倍仲麻呂も、吉備真備も、空海も、皆が皆、長楽駅で宿泊しているのである。たとえば、東からやってきた遣唐使は、長安に入る前、まず、灞井（はすい）という河にかかった橋、灞橋（はきょう）を渡ることになる。続いて渡るのが、滻水（さんすい）にかけられた橋、滻橋である。その先にあるのが、長楽坡（ちょうらくは）と呼ばれる坂である。この坂を上がったところにあるのが長楽駅だ。遣唐使の一行は、この長楽駅で旅の垢や汗を落とし、持ってきた衣装を身につけ、翌日、あらためて、春明門という長安城の東側にある門をくぐり、時の皇帝に拝謁するために、いそいそと城内へ入ってゆくのである。

長楽館の『長楽』は、もちろんこの長楽駅からきているのであろう。それを思う時、長楽館が、京の東、東山に迎賓館としてあるのは、十分に意味のあることなのである。」（前掲）　（吉村　井兵衛）

▲ 当時のイタリアン・ガーデン

長楽館 KYOTO CHOURAKUKAN SINCE 1909
TEL.075-561-0001 FAX.075-561-0006
http://www.chourakukan.co.jp 〒605-0071 京都市東山区祇園円山公園